

災害ボランティアセンター設置時における施設利用及び 施設管理等に関する業務仕様書

（災害ボランティアセンター設置場所の提供）

第1 仙台市は、市内で大規模災害が発生した場合、仙台市市民活動サポートセンター（以下「サポートセンター」という。）の施設の一部又は全部を、災害ボランティアセンター（以下「ボランティアセンター」という。）の設置場所として社会福祉法人仙台市社会福祉協議会（以下「協議会」という。）に提供することができるものとする。

（施設使用に係る協議）

第2 仙台市は、前条の規定によりサポートセンターの施設の一部又は全部をボランティアセンターの設置場所として協議会に提供しようとするときは、提供する範囲、期間及び時間帯（以下「提供範囲等」という。）並びにその他の施設の提供に関し必要な事項について、指定管理者と協議し、決定するものとする。

（施設一般利用停止等）

第3 指定管理者は、前条の規定により提供範囲等が決定された場合は、提供範囲等についての一般利用を停止するとともに、提供範囲等について使用許可をしている場合は、当該使用許可（事務用ブースに係るものを除く。）を取り消すものとする。

- 2 前項の場合において、指定管理者は、直ちに次に掲げる措置を講ずるものとする。
 - （1）提供範囲等に係る使用許可を受けている者に対する連絡調整及び使用許可の取消に係る事務処理
 - （2）提供範囲等に係る使用申込みの受付の停止
 - （3）提供範囲等に係る利用の停止及び使用申込みの受付の停止の周知
 - （4）その他施設利用者との調整
- 3 指定管理者は、提供範囲等に係る使用許可を取り消した場合において、既納の使用料等があるときは、その返還の手続を行うものとする。
- 4 指定管理者は、提供範囲等についての一般利用を停止した場合においても、設備の維持保全等の通常の指定管理業務を行うものとする。

（施設職員への応援要請）

- 第4 仙台市は、サポートセンターにボランティアセンターが設置された場合、指定管理者に対して、協議会がサポートセンターの施設において行う電話連絡の取次ぎ、機材運搬等の対応について、サポートセンターの職員による応援を要請することができる。
- 2 指定管理者は、前項の規定による応援要請があった場合は、指定管理業務に支障を及ぼさない範囲内で、サポートセンターの職員を応援させるものとする。

（備品等の使用）

第5 指定管理者は、サポートセンターにボランティアセンターが設置された場合は、サポートセンターの指定管理業務を行うに当たり必要な物品として仙台市から無償貸与されている物品のうち、ボランティアセンターの運営に必要な電話、複写機、長机その他の備品、機材等を、指定管理業務に支障を及ぼさない範囲内で、協議会に使用させるものとする。

2 仙台市は、前項の規定により協議会が備品、機材等を使用した場合において、協議会が当該備品、機材等を破損し、又は汚損させた場合は、協議会と協議の上、仙台市の責任においてその原状回復のための措置を講ずるものとする。

（施設管理費用）

第6 サポートセンターにボランティアセンターが設置された場合における次に掲げる経費は、仙台市から指定管理者に支払われる指定管理料に含まれるものとする。ただし、第1号に掲げる経費について通常の実管理運営時と比較して著しく増加した場合は、その費用負担について、仙台市と指定管理者が別途協議の上定めるものとする。

（1）ボランティアセンターの運営に係る光熱水費、電話料等の施設管理費用

（2）サポートセンターの職員がボランティアセンターの設置又は運営に関し応援業務を行った場合における当該応援業務に係る人件費

（その他）

第7 この仕様書に定めがない事項又はこの仕様書に関し疑義が生じた場合は、協議してこれを定めるものとする。